

RoVoCoMo2の操作手順

ボタン操作（左から、Aボタン、Bボタン、Cボタン）

- 索引（Cボタン）を押して、50音表示にします。
- 右矢印（Cボタン）と下矢印（Aボタン）を押して、動作させたい認識語の頭文字を選択します。例えば「ゲームしよう」を選びたい場合は「げ」を選択して、「選択」（Bボタン）を押します。
- 認識語の一覧が黄色く表示されているので、下矢印（Aボタン）で動作させる音声を選択します。
- 「選択」（Bボタン）で、それに対応する信号が送信され、ロビが動作を開始します。

電源・リセット

- AボタンとCボタンを同時に押していると電源を切ることができます。
- 左側面の赤いボタンがリセットボタンです。
- Aボタンを押したままリセットをすると、メニュープログラムを起動させられます。
- Bボタンを押したまま起動すると、FlashAir機能がオフになります。
- Cボタンを押したまま起動すると、音声再生がオフになります。

特別な操作（ロビライドの操作）

- 「遊ぼう」「遊んで」でロビライド認識語だけのリストが表示されます。
- ロビライドモードに入ると、上矢印（Cボタン）、下矢印（Aボタン）で、認識語を選択できるようになります。
- 「だいじょうぶ」を選択すると、操作ボタンも普通の操作になります。

その他

- FlashAirのSSIDとパスワードは、SSIDがflashair_xxxxxで、パスワードが12345678の場合に自動的に接続できるようになっています（xxxxxの部分は任意の文字）。買った状態のSSIDとパスワードはこの設定になっています。
- SSIDやパスワードが上の条件になっていない場合は、エディタでSSIDとパスワードをカンマで区切って書いて、flap.txtと言う名前でも5Stackに入れるmicroSDに保存してください。起動時にそのファイルを最初に検索する仕様になっています。
- 複数のFlashAirの電波があった場合、いちばん電波の強いFlashAirに接続する仕様になっていますので、起動時に接続させたいFlashAirの近くで起動させて下さい。

QRCode（現在、未対応です）

- 起動するとスマホから操作する場合のアクセス先のURLのQRCodeが表示されます。
- 左のQRCodeが外出先などで使うソフトAPのQRCodeでsftap.txtで設定したSSIDとパスワードになります。右のQRCodeが自宅のWiFiに接続して使うためのQRCodeでstaap.txtの設定で接続したものになります。
- 左のボタン、中央のボタンで2つのQRCodeをひとつだけの表示にできます。左のQRCodeにアクセスする場合は、まず環境設定からWiFiの接続先をsftap.txtで設定した名称のアクセス先に切り替えて下さい。右のQRCodeにアクセスする場合はスマホのWiFiの接続先がstaap.txtのSSIDと同じでなければいけません。
- QRCodeリーダーのアプリで読み取ってブラウザで開いて下さい。ブラウザはGoogle Chromeがおすすめです。
- ブラウザでボタン類が表示されたら、M5Stackの右のボタン「OK」を押して下さい。